川崎市生活文化会館（てくのかわさき）広報誌

て＝手（芸）
く＝工（芸）
の＝（技）能

てくのだより

第 60 号
（令和 5 年 12 月）

＜コンテンツ＞
◆第 1 回てくのカップ健康マージャン大会　…2
◆川崎市技連協 50 周年記念式典　…2
◆秋のものづくり体験教室　…3
◆てくの道具展　他　…4

発行：川崎市生活文化会館（てくのかわさき）　発行責任者：石井秀典
事務局：川崎市生活文化会館内　川崎市高津区溝口 1-6-10　電話 044-812-1090
指定管理者：公益財団法人　神奈川県労働福祉協会

「第１回　てくのカップ健康マージャン大会」が開催されました

10 月 21 日（土）てくのホールにて「てくのカップ健康マージャン大会」が開催されました。セコム㈱様・サントリービバレッジソリューション㈱様・神奈川東部ヤクルト販売㈱様の協賛をいただいた中、腕自慢 29 名が参加され全 4 回戦・4 時間 30 分の熱戦が繰り広げられました。そのなかで合計 212, 600 点を獲得した内田浩貴さんが見事第 1 回王者に輝きました。

～川崎市技連協設立 50 周年記念式典～

10 月 29 日（日）川崎市技能職団体連絡協議会設立 50 周年記念式典が、川崎日航ホテル鳳凰の間において執り行われました。福田市長をはじめ、来賓・関係者 100 名以上が集まり、各々旧交を温めつつ、親睦を深め、健康を祝い楽しい時間を過ごしました。

福田市長ご挨拶

乾杯の発声

高崎市技連協より氷の彫刻が寄贈されました

⇦ 最後はやっぱり山本会長の唄で締め

☆次回は 100 周年でお会いしましょう ♪

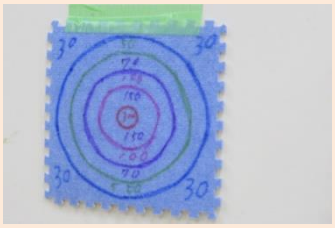
秋の　ものづくり体験教室

かわさきマイスター

10月9日（月･祝）に「秋のものづくり体験教室」が開催されました。今回は３つのコースが実施され多くの小学生が「かわさきマイスター」さんから楽しく学びました。

❶　親子で木工工作　おもしろダーツづくり教室

☆畫川捷太郎マイスター



パチンコの要領で飛ばすダーツです。ノコギリの使い方を習って作り、的は思い思いに点数配分をしてみました。最後はみんなでダーツ大会。誰が優勝したのかな。

❷　親子でハンカチ藍染め教室

☆小林伸光マイスター

藍染めってなんでしょう？　よくわからないけど、なんかカッコいいぞ。自分でデザインしたハンカチが青く染まっていく。　早く使ってみたい！

❸　古着をリメイク　ミシンできんちゃくづくり教室

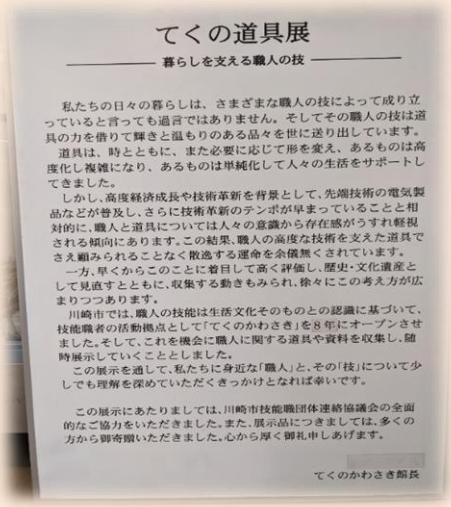
☆砂山幸子マイスター

初めてのミシンに大興奮！ちっちゃくて着れなくなった服がみるみる袋に化けていく。
ミシンてすごい。この先生たちすごい‼

「てくの道具展」

かつての技能職人の道具をご覧ください

4 階地名資料室前の廊下にあった職人道具のショーケースを、2 階エントランスに移動させご来場の皆様に気軽にご覧いただけるようになりました。技能職人の凄みが溢れる道具の数々をご覧ください。


てくの道具展

暮らしを支える職人の技

私たちの日々の暮らしは、さまざまな職人の技によって成り立っていると言っても過言ではありません。そしてその職人の技は道具の力を借りて輝きと温もりのある品々を世に送り出しています。

道具は、時とともに、また必要に応じて形を変え、あるものは高度化し複雑になり、あるものは単純化して人々の生活をサポートしてきました。

しかし、高度経済成長や技術革新を背景として、先端技術の電気製品などが普及し、さらに技術革新のテンポが早まっていることと相対的に、職人と道具については人々の意識から存在感がうすれ軽視される傾向にあります。この結果、職人の高度な技術を支えた道具でさえ顧みられることなく散逸する運命を余儀無くされています。

一方、早くからこのことに着目して高く評価し、歴史・文化遺産として見直すとともに、収集する動きもみられ、徐々にこの考え方が広まりつつあります。

川崎市では、職人の技能は生活文化そのものとの認識に基づいて、技能職者の活動拠点として「てくのかわさき」を8年にオープンさせました。そして、これを機会に職人に関する道具や資料を収集し、随時展示していくこととしました。

この展示を通して、私たちに身近な「職人」と、その「技」について少しでも理解を深めていただくきっかけとなれば幸いです。

この展示にあたりましては、川崎市技能職団体連絡協議会の全面的なご協力をいただきました。また、展示品につきましては、多くの方から御寄贈いただきました。心から厚く御礼申しあげます。

てくのかわさき館長

「てくのかわさき」へお越しください

かねて「てくのはどこにあるのか」「場所がわかりにくい」等のお声をいただいておりましたが、このたび北側外窓に「表札」をつけました。マルイを出たら一目瞭然！ぜひ「てくのかわさき」へお越しください。